

1. 件名：電源開発株式会社大間原子力発電所設工認申請に関する面談について

2. 日時：令和元年10月3日（木）10：00～11：40

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

実用炉審査部門 正岡管理官補佐、止野上席安全審査官、照井安全審査官、
桐原調整係長

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部長代理 他5名

5. 要旨

(1) 電源開発株式会社（以下「電源開発」という。）から、配布資料に基づき、新検査制度施行を踏まえた大間原子力発電所の設計及び工事の方法の認可（以下「設工認」という。）の申請の考え方についての説明があった。

(2) 電源開発からは、現在建設中の大間原子力発電所については、工事の状況も踏まえ既に認可を受けた工事計画を段階的に変更することで、新検査制度や新規制基準対応を行うことを考えており、あわせて、申請している新規制基準対応のための工事計画についての取扱いも検討したい旨の説明があった。

(3) 原子力規制庁からは、先行炉における継続中の工事に関する工事計画の新規制基準対応での事例を踏まえて、新規制基準対応のための工事計画について、これまでに認可を受けた工事計画を変更することで対応するのか、設置の工事の分割工認として工事計画の認可を受けるのか検討するよう求めた。また、建設プラントにおける申請の考え方については、他の建設中プラントについても同様な考え方であるのか確認するよう求めた。

(4) 電源開発からは、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

- ・大間の新検査対応及び新規制対応工認手続きについて